

2023年7月20日

株式会社京葉銀行



株式会社FRDジャパンへのブルーサステナビリティファイナンスの 取り組みについて

株式会社京葉銀行（頭取 熊谷 俊行）は、株式会社FRDジャパン（代表取締役 辻 洋一 十河 哲朗、以下 FRDジャパン）に対し、三井住友信託銀行株式会社（社長 大山 一也）、株式会社りそな銀行（社長 岩永 省一）とともに、2023年6月、ブルーサステナビリティファイナンス（※）の枠組みを活用した融資契約（以下 本融資）を締結しましたのでお知らせいたします。

（※）環境・社会課題等を解決し持続可能な社会の構築に資するサステナビリティファイナンスのうち、特に海洋環境や海洋資源等の保全に貢献する事業の資金調達を指す。

本融資に基づき実行する資金は、本年7月に千葉県富津市において着工するサーモントラウトの陸上養殖商業プラントの建設資金に充当される予定です。

また本融資に際し、FRDジャパンは「ブルーサステナビリティローン・フレームワーク」を策定しており、本フレームワークと国際機関の定める原則等との適合性に対するセカンドオピニオンを株式会社格付投資情報センター（R&I）より取得しております。

【背景、目的】

世界的な人口増加や食文化の変化を背景に、良質の動物性タンパク源である水産物の需要は年々増加しており、再生産可能な養殖水産物に対するニーズはますます高まっています。

一方で、海面での養殖の適地が限られており、今後も伸長する水産物需要を支えるためには陸上養殖の産業化が必要となります。

FRDジャパンの閉鎖循環式陸上養殖システムは、バクテリアを利用した高度濾過技術により、天然海水を使用せず、飼育水を閉鎖循環させながら水質を維持することが可能で、従来の陸上養殖で高コストの要因となっていた取水時の水温調節費用や、魚病の侵入リスクを大幅に減少させることができます。これにより、場所を選ばずに養殖を行うことができ、消費地近郊にプラントを立地させることで、高鮮度な商品を低い輸送コストで流通させることが可能になります。

【本融資で建設する商業プラントの概要】

所在地	千葉県富津市
生産魚種	サーモントラウト
生産量	年間3,500トン規模
着工時期	2023年7月予定（開発工事着工）
操業開始時期	2026年予定
出荷開始時期	2027年予定

【建設する商業プラントの完成予想図】




【FRD日本の概要】

事業所	本社：埼玉県さいたま市岩槻区 実証実験プラント：千葉県木更津市
設立	2013年12月
代表者	辻 洋一、十河 哲朗
事業内容	閉鎖循環式陸上養殖事業

当行は、さまざまな社会的課題の解決に取り組むため、中長期的な「ESG関連投融资実行目標」（2021年度から2030年度までの実行目標7,000億円）を掲げています。今後もサステナビリティへの取り組みを通じて、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

以上



京葉銀行ではSDGsへの取り組みに関するニュースリリースに、「SDGs 17の目標アイコン」を標示しています。

【SDGs：Sustainable Development Goals（持続可能な開発目標）】
2015年9月に国連で採択された、2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標のこと。17のゴール・169のターゲットから構成される。